

IV 人間福祉学研究科

1 平成30年度教育課程表

2 学位授与へのプロセス

3 臨床心理学専攻の実習計画について

1. 平成30年度教育課程表

人間福祉学専攻 専門科目

○単位は必修

科 目 名	授業 形態	年次・単位数				教 員 名	備 考
		1 年次		2 年次			
		前	後	前	後		
人間福祉学領域							
人 間 福 祉 学 特 論	講義	②				今 井 博 康	
						尾 形 良 子	
						梶 晴 美	
						黒 澤 直 子	
						佐々木 浩 子	
						佐 藤 克 之	
						大宮司 信	
						吉 田 修 大	
地 域 創 生 特 論	講義			2		佐 藤 克 之	隔年開講・集中講義
学 際 領 域 特 論	講義	2				佐 藤 克 之	隔年開講・集中講義
人 間 福 祉 学 研 究 法 I	講義	2				森 下 義 亜	集中講義
人 間 福 祉 学 研 究 法 II	講義		2			森 下 義 亜	集中講義
キ ャ リ ア パ ス 特 論	講義			2		尾 形 良 子	集中講義
社会福祉学領域							
ソ ー シ ャ ル ワ ー ク 特 論	講義	2				黒 澤 直 子	集中講義
高 齢 者 福 祉 特 論	講義	2				吉 田 修 大	集中講義
障 害 福 祉 特 論	講義		2			近 藤 尚 也	集中講義
地 域 福 祉 特 論	講義			2		尾 形 良 子	集中講義
医 療 福 祉 特 論	講義		2			黒 澤 直 子	集中講義
ス ー パ ー ビ ジ ョ ン 特 論	講義		2			今 井 博 康	集中講義
精 神 保 健 福 祉 特 論	講義		2			今 井 博 康	集中講義
						尾 形 多佳士	
社 会 福 祉 演 習	演習		2			尾 形 良 子	集中講義
						黒 澤 直 子	
ス ー パ ー ビ ジ ョ ン 演 習	演習			2		今 井 博 康	集中講義
介護福祉学領域							
介 護 福 祉 特 論	講義		2			梶 晴 美	集中講義
食 生 活 学 特 論	講義	2				土 屋 律 子	隔年開講・集中講義
住 生 活 学 特 論	講義		2			佐 藤 克 之	集中講義
福 祉 環 境 特 論	講義		2			佐 藤 克 之	集中講義
介 護 福 祉 演 習	演習			2		梶 晴 美	集中講義
社会福祉学・介護福祉学共通領域							
人 間 福 祉 実 践 実 習 指 導	講義	← 2 →				吉 田 修 大	集中講義
						今 井 博 康	
						梶 晴 美	
人 間 福 祉 実 践 実 習	実習	← 2 →				吉 田 修 大	集中講義
						今 井 博 康	
						梶 晴 美	

科 目 名	授業 形態	年次・単位数				教 員 名	備 考
		1 年 次		2 年 次			
		前	後	前	後		
健康福祉学領域							
健 康 福 祉 特 論	講義		2			上 田 泉	集中講義
						坂 上 真 理	
						古 名 丈 人	
健 康 科 学 特 論	講義		2			佐々木 浩 子	
保 健 医 学 特 論	講義			2		大宮司 信	隔年開講・集中講義
心理学領域							
家 族 心 理 学 特 論	講義				2	河 岸 由里子	集中講義
基 礎 心 理 学 特 論	講義	2				田 辺 毅 彦	集中講義
研究指導							
人 間 福 祉 特 別 研 究 I	演習	②				今 井 博 康	集中講義
						尾 形 良 子	
						梶 晴 美	
						黒 澤 直 子	
						佐々木 浩 子	
						佐 藤 克 之	
						大宮司 信	
						吉 田 修 大	
人 間 福 祉 特 別 研 究 II	演習	②				今 井 博 康	集中講義
						尾 形 良 子	
						梶 晴 美	
						黒 澤 直 子	
						佐々木 浩 子	
						佐 藤 克 之	
						大宮司 信	
						吉 田 修 大	
人 間 福 祉 特 別 研 究 III	演習	②				今 井 博 康	集中講義
						尾 形 良 子	
						梶 晴 美	
						黒 澤 直 子	
						佐々木 浩 子	
						佐 藤 克 之	
						大宮司 信	
						吉 田 修 大	
人 間 福 祉 特 別 研 究 IV	演習			②		今 井 博 康	集中講義
						尾 形 良 子	
						梶 晴 美	
						黒 澤 直 子	
						佐々木 浩 子	
						佐 藤 克 之	
						大宮司 信	
						吉 田 修 大	

科 目 名	授業 形態	年次・単位数				教 員 名	備 考
		1 年 次		2 年 次			
		前	後	前	後		
臨床心理学領域							
臨 床 心 理 学 特 論 I	講義	②				風 間 雅 江	
						澤 聡 一	
臨 床 心 理 学 特 論 II	講義		②			風 間 雅 江	
						澤 聡 一	
臨 床 心 理 面 接 特 論 I (心理支援に関する理論と実践)	講義	②				澤 聡 一	
						飯 田 昭 人	
臨 床 心 理 面 接 特 論 II	講義		②			新 川 貴 紀	
家 族 心 理 学 特 論 (家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)	講義				2	河 岸 由 里 子	集中講義
司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開	講義	2				龍 島 秀 広	
精 神 医 学 特 論 (保健医療分野に関する理論と支援の展開)	講義	2				武 藤 福 保	集中講義
心 身 医 学 特 論	講義		2			大宮司 信	
障 害 者 心 理 学 特 論 (福祉分野に関する理論と支援の展開)	講義	2				風 間 雅 江	
心 理 療 法 特 論	講義	2				入 江 智 也	隔年開講
学 校 臨 床 心 理 学 特 論 (教育分野に関する理論と支援の展開)	講義				2	山 谷 敬 三 郎	
コ ミ ュ ニ テ ィ 心 理 学 特 論	講義			2		小 坂 守 孝	隔年開講
産業・労働分野に関する理論と支援の展開	講義		2			小 坂 守 孝	
心の健康教育に関する理論と実践	講義		2			澤 聡 一	
基礎心理学領域							
心 理 学 研 究 法 特 論	講義	2				風 間 雅 江	
						佐 藤 至 英	
認 知 心 理 学 特 論	講義	2				阿 部 純 一	隔年開講
生 理 心 理 学 特 論	講義			2		田 村 卓 哉	隔年開講
発 達 心 理 学 特 論	講義			2		伊 藤 崇	
社 会 心 理 学 特 論	講義	2				今 川 民 雄	集中講義
演 習							
臨 床 心 理 査 定 演 習 I (心理的アセスメントに関する理論と実践)	演習		②			新 川 貴 紀	
						澤 聡 一	
臨 床 心 理 査 定 演 習 II	演習	②				飯 田 昭 人	一部集中講義
						谷 中 みゆき	
心 理 学 特 別 演 習	演習	← 4 →				小 坂 守 孝	
						飯 田 昭 人	
						入 江 智 也	
						風 間 雅 江	
						佐 藤 至 英	
						澤 聡 一	
						新 川 貴 紀	
村 瀬 嘉代子							

科 目 名	授業 形態	年次・単位数				教 員 名	備 考
		1 年次		2 年次			
		前	後	前	後		
実 習							
臨 床 心 理 基 礎 実 習	実習	←②→				新 川 貴 紀	事前事後指導を含む
						飯 田 昭 人	
						入 江 智 也	
						風 間 雅 江	
						小 坂 守 孝	
						澤 聡 一	
心 理 実 践 実 習 I	実習	④				風 間 雅 江	事前事後指導を含む 集中講義
						飯 田 昭 人	
						小 坂 守 孝	
						佐 藤 至 英	
						澤 聡 一	
						新 川 貴 紀	
臨 床 心 理 実 習 I（心 理 実 践 実 習 II）	実習			←⑧→		風 間 雅 江	事前事後指導を含む 一部集中講義
						飯 田 昭 人	
						小 坂 守 孝	
						澤 聡 一	
臨 床 心 理 実 習 II	実習			←①→		新 川 貴 紀	集中講義
						小 坂 守 孝	
						飯 田 昭 人	
						入 江 智 也	
						風 間 雅 江	
						澤 聡 一	
						新 川 貴 紀	
						齊 藤 美 香	
研究指導							
修 士 論 文 指 導 I	演習	②				飯 田 昭 人	集中講義
						入 江 智 也	
						風 間 雅 江	
						小 坂 守 孝	
						佐 藤 至 英	
						澤 聡 一	
						新 川 貴 紀	
修 士 論 文 指 導 II	演習	②				飯 田 昭 人	集中講義
						入 江 智 也	
						風 間 雅 江	
						小 坂 守 孝	
						佐 藤 至 英	
						澤 聡 一	
						新 川 貴 紀	

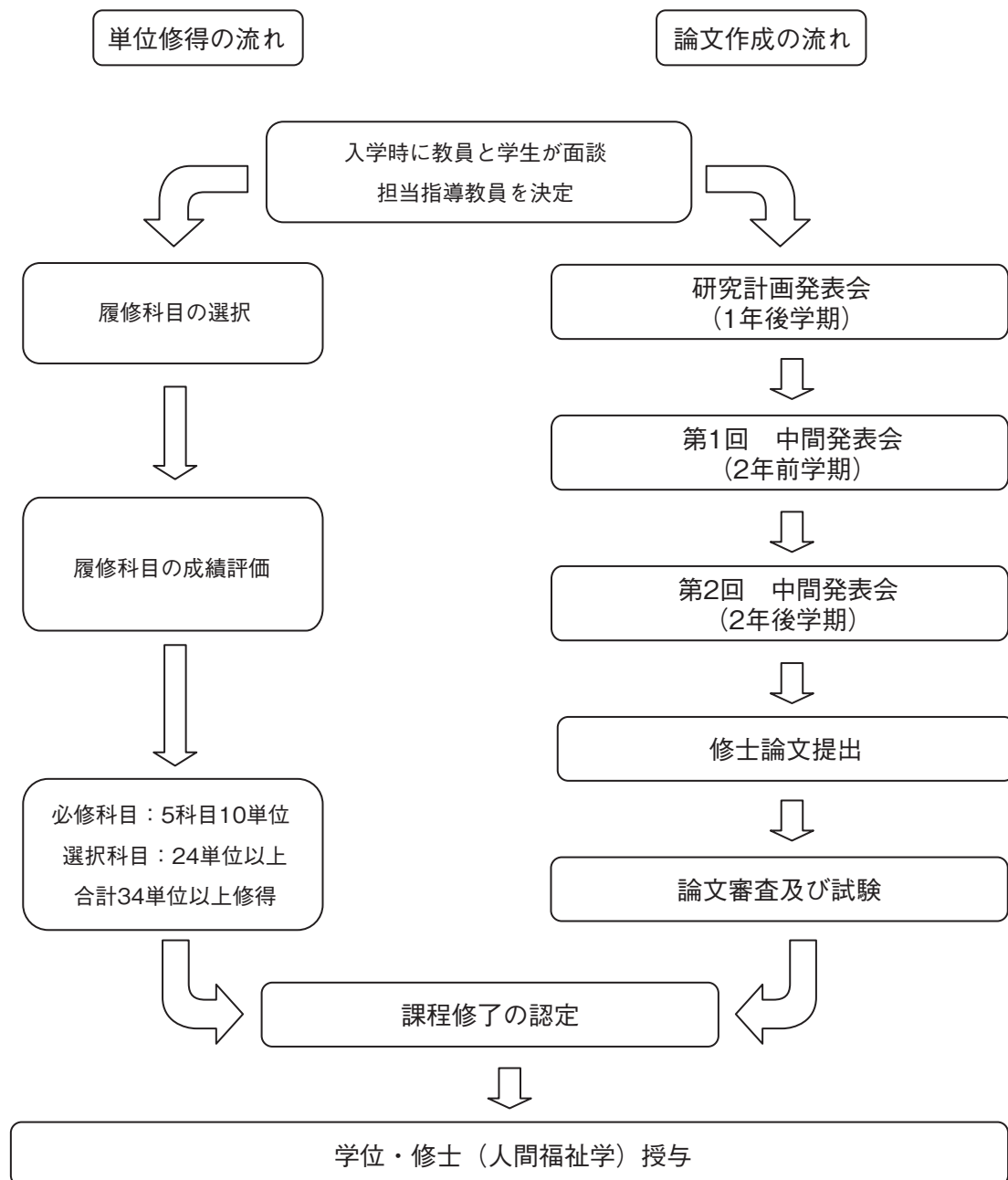
臨床心理学専攻 専門科目

○単位は必修

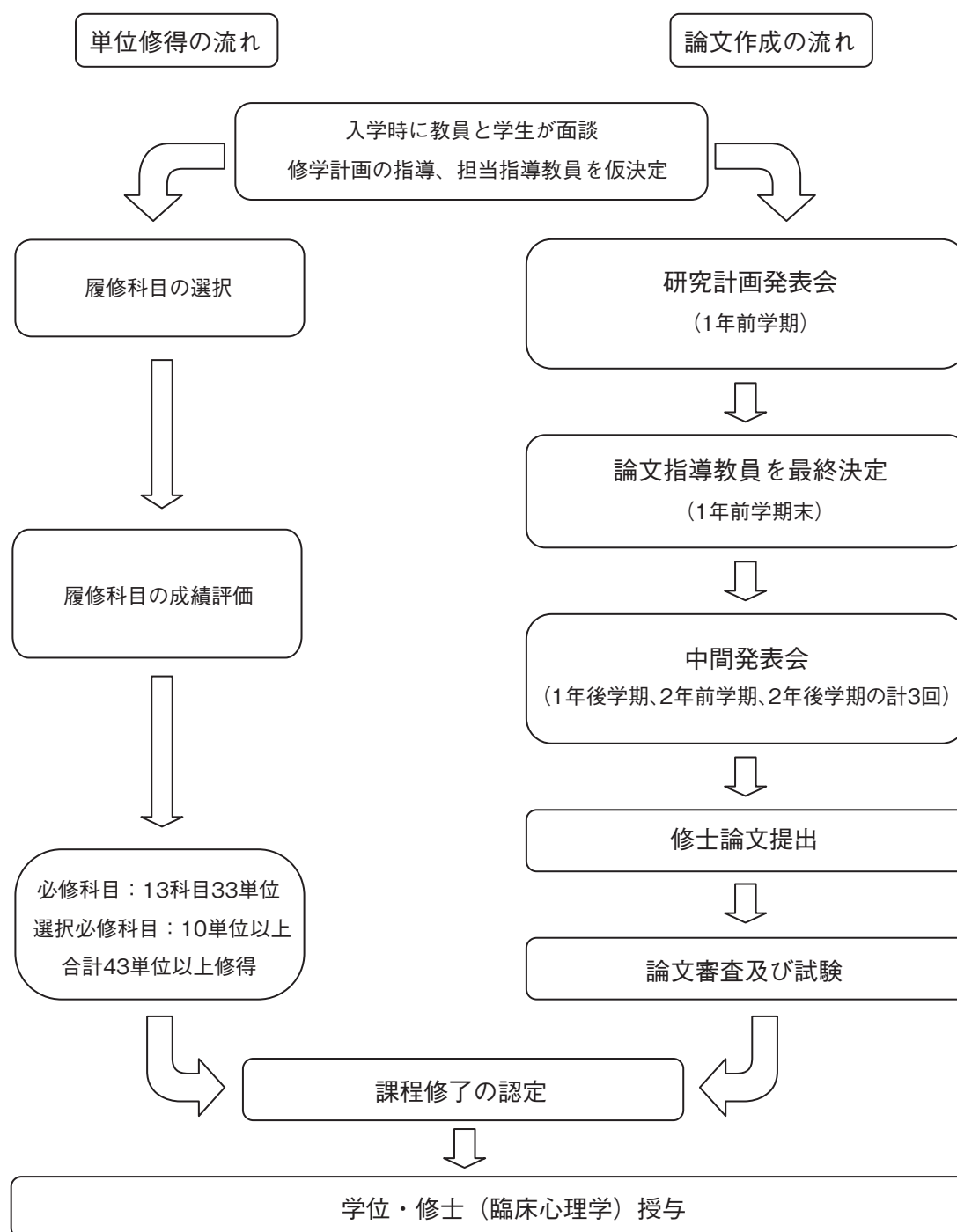
科 目 名	授業 形態	年次・単位数				教 員 名	備 考
		1 年次		2 年次			
		前	後	前	後		
修 士 論 文 指 導 Ⅲ	演習				②	飯 田 昭 人	集中講義
						入 江 智 也	
						風 間 雅 江	
						小 坂 守 孝	
						佐 藤 至 英	
						澤 聡 一	
						新 川 貴 紀	

2. 学位授与へのプロセス

①人間福祉学研究科人間福祉学専攻



②人間福祉学研究科臨床心理学専攻



3. 臨床心理学専攻の実習計画について

人間福祉学研究科臨床心理学専攻は、公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会が認定する臨床心理士養成大学院の第1種指定大学院であり、「臨床心理士」の受験資格を取得することができる。加えて、国家資格「公認心理師」の受験資格を取得するうえで必要な大学院の指定科目を設置し、本専攻入学前に出身大学等において省令で定める科目を履修済で、本学大学院の履修規程に則った科目を本専攻で履修した場合に、公認心理師受験資格を取得することができる。

心理臨床の実務を学ぶためには、実習科目における細やかな指導の下、実践体験を積み重ねながら洞察を深めることが必要不可欠である。本専攻では、臨床心理士ならびに公認心理師の受験資格を得る上で必要な実習科目として、1年次は「臨床心理基礎実習」(臨床心理士指定科目)および「心理実践実習Ⅰ」(公認心理師指定科目)、2年次は「臨床心理実習Ⅰ(心理実践実習Ⅱ)」(臨床心理士・公認心理師指定科目)および「臨床心理実習Ⅱ」(臨床心理士指定科目)を設置し、これら全てを必修科目としている。詳細は実習要綱に記すが、以下に各実習科目の概要を示す。

1) 臨床心理基礎実習

①意義と目的

本実習では、心理臨床活動を行う上で必要な基礎的な態度と臨床心理学の理論と知識および心理的支援のスキルを修得するとともに、心理臨床の現場への参加観察ならびに指導による実践を通して、心理臨床の実際を体験することを目的とする。

②展開方法・実習内容・実習施設

1年次通年科目であり、基準では前・後学期それぞれ45時間、合計90時間であるが、基準時間を上回って行われることがある。

前学期は、本学大学院人間福祉学研究科附属臨床心理センター（以下、センター）におけるオリエンテーション、ロールプレイによる実技指導、インテーク面接実習、SST実習、CBT実習、集団療法実習、ケーススタディ、および学外実習にむけた事前指導等を行う。本実習を含む臨床心理士指定科目の心理面接の基礎的技術の指導は、臨床心理士有資格者の教員が複数体制で行う。

後学期は、センターおよび学外実習施設の適応指導教室（江別市教育委員会）において実習を行う。センターでの実習は、実習に適切と思われる来談者のインテークまたは継続面接への陪席等を行う。学外施設での実習は最低30時間として行う。さらに、実習終了後に事後指導として本実習科目での実習体験の発表報告会、およびケースカンファレンスにも参加する。

2) 心理実践実習Ⅰ

①意義と目的

本実習では、心理臨床活動の実践、陪席、見学等を通して体験的に心理的支援の実際を学び、心理に関する支援を必要とする人に対するコミュニケーション、心理検査、心理面接、地域支援等に関する知識とスキルを修得することをめざす。

②展開方法・実習内容・実習施設

1年次後期科目であり、学外実習施設として、精神科病院（札幌トロイカ病院）、児童養護施設

設（北光社ふくじゅ園）、少年鑑別所（札幌少年鑑別所）、少年院（北海少年院）の4施設全てで実習を行い、その合計時間は36時間である。学内実習施設として、センターにおいて114時間、学内外の施設で合計150時間の実習を行う。学内外の実習施設の担当ケースに関する実習を通して、担当教員および学外実習指導者の指導のもと、さまざまな臨床心理学的アプローチにおけるコミュニケーションのスキル、心理アセスメントおよび心理療法の実践スキルを修得し、チームアプローチ、多職種連携および地域連携、心理職としての職業倫理および法的義務についての理解を深める。

3) 臨床心理実習Ⅰ（心理実践実習Ⅱ）

①意義と目的

本実習では、1年次の実習で学んだことを基礎として、さらに心理職として活動を行う上で必要な態度と技法を修得することを目的とする。担当教員および実習施設の指導者による指導のもと、継続的に心理面接や集団心理療法等の心理臨床活動の実際を体験し、心理臨床の素養を確かなものにすることをめざす。さらに、心理的支援を必要とする人等の理解とニーズの把握および支援計画の作成等についても実践的に学ぶ。

②展開方法・実習内容・実習施設

2年次通年科目であり、学外実習施設として、精神科病院（さっぽろ香雪病院、札幌トロイカ病院）、心療内科病院（札幌朗愛会病院）、総合病院（札幌医科大学附属病院）のいずれか1か所の医療機関において60時間、学内実習施設として、本学センターにおいて240時間、合計300時間を基準とした実習を行う。ただし、実習機関によって基準時間を上回って行われることがある。

事前指導は、実習施設での実習の準備として、臨床心理基礎実習の体験をふまえつつ、ロールプレイなどにより面接技法の実技指導を行う。実習は、センターにおいては、ケース担当教員の指導の下、成人および思春期・青年期クライアントの心理面接や心理査定、または幼児・児童のプレイセラピーや心理査定を行う。学外実習施設での主たる内容は、さっぽろ香雪病院では、認知症および成人を対象とした集団療法等、札幌トロイカ病院では、認知症、成人、思春期・青年期のクライアントの心理面接、心理査定、集団療法等、札幌朗愛会病院では、成人または思春期・青年期クライアントの心理面接や心理査定等、札幌医科大学附属病院では、精神科等での心理面接および心理査定等を予定している。

実習と並行して、全教員および1年次2年次両方の全大学院生が参加するケースカンファレンスを行い、担当ケースについて発表し、討議に参加する。

4) 臨床心理実習Ⅱ

①意義と目的

学内外の実習施設で担当したケースについて、学外スーパーバイザーおよび指導担当教員により、多面的な観点からスーパービジョンを行い、ケースについての理解の深化をめざす。

②展開方法・実習内容

2年次通年科目であり、通年で45時間のスーパービジョンを個別に受ける。

